

〈防災マップ作りには、どのような思いが込められていますか〉

防災マップは、民生委員や自治会が連携して作成・更新している福祉マップが基礎となっています。要支援者や危険箇所を「見える化」することで、災害時にすぐ行動できる地域を目指しています。

個人情報取り扱いには難しさもあるので、日頃のご近所付き合いの中で互いに気にかけて合うことが大切だと考えています。

自治会長が代わるごとに多くの人が関わること、地区のことを自分ごととして考える意識が広がり、防災力の底上げにつながっていると思います。



おかえりなさいコール

〈活動の中で、大変だったことや印象に残っていることはありますか〉

地の神様づくりでは、竹やわらの準備が大変です。わらを確保し、当日まで良い状態で保管するには多くの手間がかかります。また、豆まきでは鬼役を務めています。ごどもから高齢者まで楽しめるよう工夫しています。

準備は大変ですが、地域の皆さんが喜んでくれることが大きな励みになっています。

〈ごどもたちとの関わりで、心に残っている活動はありますか〉

毎月第2水曜日に行っている見守り活動「おかえりなさいコール」は、長く続けている活動の一つです。下校するごどもたちを大きな旗で迎え、声をかけています。防犯の効果だけでなく、元気なごどもたちから地域全体が元気をもらっています。ごどもたちとのこうした日常的な関わりが、地域のつながりを実感できる大切な時間になっています。

〈今後の課題や、地域・行政への思いを教えてください〉

活動開始から18年程経ち、メンバーの高齢化が進んでいます。これからは、退職後の方や若い世代など、より多くの人に気軽に関わってもらいたいです。「できる時に、できることから」関わる人が増えることで、地域

の支え合いが次の世代につながっていくと感じています。

「そんだもんで東」による防災マップ作りや行事の準備、見守りの積み重ねは、地域の人と人のつながりをつくる大切な営みであり、誰もが安心して暮らせる地域づくりにつながっています。無理のない形で続けてきたこの活動が、次の世代へと引き継がれていくことが、これからの地域の力となると感じました。

〈取材協力〉ご協力ありがとうございました
そんだもんで東



- 樽林 誠一さん
- 加茂 ひろ子さん
- 赤堀 進さん
- 赤堀 さよさん
- 鈴木 廣子さん
- 一俣 美保子さん
- 妻木 昭子さん
- 杉山 ひさ子さん
- 赤堀 ミチヨさん

(写真右から)